

「基金」の運営構想

(資金の流れと運営 I ; 枠組み)

基金の目的

2018.3.17

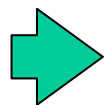
- ◎「あいちモリコロ基金」の理念と成果・経験を継承する。
- ◎これからの時代に必要な活動・人・組織を育てる。

資金の流れは二つ。①【休眠預金】と、②【地域独自に集める】

休眠預金活用制度

〈休眠預金の流れ〉

1. 「金融機関等」から
↓ 〈交付; 年700億円〉
2. 「指定活用団体」(全国で1)
↓ 〈助成・貸付〉
3. 「資金分配団体」(全国約20)
↓ 〈助成・貸付・出資〉
4. 「民間公益活動団体」へ



助成
貸付

平成
31年秋
スタート

地域独自で集める

多種多様な寄付を募る (マンション型基金)

寄付内容 (中部圏の課題)

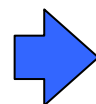
- ◇万博理念(持続可能社会)
- ◇南海トラフ巨大地震対策
- ◇スーパーメガリージョン対策
- ◇地域・コミュニティ創生
- ◇起業の開発促進
- ◇ほか

寄付者の想定

- ◇企業・団体・個人

寄付の形態

- ◇慈善/遺贈/CSR/地域協力/その他



寄付
貸付

寄付者の
意志
生かす

市民の
自発性

一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

資金分配団体に立候補する

- 資金分配団体の要件
中間支援団体/経験と実績/市民運営
- 事業(活動)内容
助成・貸付・出資で支援する

地域資源を集める

- 「公益性」、「社会的信頼」、「支援と評価の適確さ」が必要。

運営組織構想

1. 【組織形態】一般財団法人
◇基本財産: 300万円以上
◇設立者+役員(理事・評議員・監事)
2. 【活動エリア】中部5県
◇モリコロ基金の地域スキーム(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)を継承。
3. 【構成】産官学民で
◇モリコロ基金設立者(愛知県、名古屋市、名商、中経連)の支援と運営経験活かし
◇中部5県の産・官・学・NPOでつくる。
4. 【発足・展望】
◇平成30年2月15日法人設立。
◇調査研究、研修事業に着手。
◇資金分配団体に立候補し指定をめざす。
指定受ければ、平成31年秋以降本格活動。



助成
貸付
出資

募集
審査
支援
評価



【休眠預金による支援】

- 民間公益活動団体へ
 - ①生活上の困難者支援
 - ②子ども若者支援
 - ③困難地域支援
 - ④政令で定める
- 選定要件のポイント
 - ◇社会の課題解決
 - ◇行政が出来ないこと
 - ◇成果が見える化し評価

【地域資源による支援】

- 自己判断でテーマ設定する
- 休眠預金制度から漏れる活動
- マンション型基金の多様性・効率性を活かす

【本基金の特徴】

- 中部圏で課題解決する
(南海トラフ巨大地震、スーパーメガリージョン対策、地域活性化等)
- 持続性(人材・組織)の育成
(人材開発研修、研究支援、地域力向上)
- 調査研究・研修機能充実